



おおくわ

議会だより

第137号

平成26年7月24日発行

発行 大桑村議会

議会報編集特別委員会

長野県木曽郡大桑村長野2778

電話 (0264)55-3080



「御座石の前で浦安の舞」須佐男神社例大祭

6月定例会



平成26年度補正予算審議

2



一般質問

7名が登壇、村政を問う

4



サークル紹介

14

総額 36億3,866万円に

6月定例会は、6月17日から27日までの11日間の会期で開かれ、委員長報告、組合議員報告、議長報告、行政報告、監査報告の後、請願2件・陳情2件を審議。一般質問（7名7件）が行われた。村長提出議案（報告2件、条例改正等4件、補正予算5件）などが上程され慎重審議可決した。また、固定資産評価審査委員の任命、人権擁護委員の推薦について原案に同意し、議会推薦の農業委員を選任した。

国民ナンバー制度

Q 国民ナンバー制度の法案が可決したが、住民にとってどうなるか具体的に説明してほしい。また、個人情報への漏えいは守られるか。

A 社会保障や給付金等の作業が、国・地方公共団体でやり取りできる。また、災害時の救助や支援金の支給などが円滑にできる。情報の漏えいについては個人情報漏えい法が制定され運営されると聞いている。

下在阿寺線工事減額

Q 下在阿寺線工事は減額になった内容は。

A 国庫補助金が減額されたため2年度に渡る工事となり事業費を減額とした。



下在郷分館建設予定地

下在郷分館

Q 下在郷分館建設工事が3300万程増額になった原因は。

A 地盤のボーリング調査を行った結果、当初の予定より地盤改良の費用が増え、また人件費資材の高騰、施設の見直しもあり、増額となった。

Q 避難場所としての施設の内容、耐震等の対策は取られているか。

A 当初の計画から、避難施設として耐震等の設計をしている。

Q 受注は村内業者でできるか。

A 発注規模もあるのでJV（共同企業体）を組む方法もある。最終的に選定委員会で決定される。

Q 他の分館も老朽化しているところもあるが、建て替え等考えているか。

意見

A 地域との話し合いで検討していく。予算が大幅に変更になったのは当初の計画が甘かったのではないか。もっとしっかりした査定をしてほしい。

林道・農道

Q 村単林道整備の内容と、農道舗装工事の場所は。

A 林道整備は野尻小川線が今回の雨により暗きよがつまり、その復旧。農道舗装工事は和村下2号線、大野線、振田平2号線の3か所。

経営体育成支援事業助成金

Q 経営体育成支援事業助成金の内容は。

A 今冬の大雪によるビニールハウス倒壊の助成金、今回申請

補正予算 質疑

6,336万円を追加

一般会計



通園バス

Q

特別老人養護施設の入所が困難にな

特別老人養護施設

対応している。

A

現在、臨時職員を1年間嘱託として

夫か。

が、観光を重視している村として体制は大

Q

商工観光係が1名欠員になっている

商工観光

のあった2件が対象となっている。

たため委託料が減った。

えスクールバスに変えていたが園児の数が

A

伊奈川方面に通園のタクシーを使っ

いる内容は。

Q

通園バス運転委託料が減額となつて

通園バス

る。

A

現在木曾郡では30名、村では5名い

っているが、村では何人の待機者がいるか。

会計別補正状況

(単位：万円)

会 計	補正額	補正後の 予算額	主な内容
一般会計	6,336	363,866	村単道路維持事業 3,237 国庫補助道路新設改良事業 △5,046 (村道下在阿寺線) 村単道路新設改良事業 △544 公民館建設事業 3,371 (下在郷分館) 庁舎建設基金積立 3,000
村営水道事業特別会計	66	28,159	上郷浄水場作業道測量委託 61
国民健康保険事業特別会計	543	41,102	番号制度に係るシステム改修 130 後期高齢者支援金決定による増 459
公共上下水道事業特別会計	△611	10,603	村道下在阿寺線移設分の減 △652
後期高齢者医療事業特別会計	70	6,805	番号制度に係るシステム改修 70

質 問

この問答は、質問議員が要約したものです。

鈴木 武 議員



太陽光発電に対する村の方針は

指針をつくり対応したい

Q 村は、「再生可能エネルギー」とも

いわれる太陽光発電の推進に向け、「太陽光発電システム設置補助金」を平成24年度から施行している。交付状況は。

A 利用件数は、21件、補助金総額は、約279万円である。

Q 野尻川向地区で、民間事業者による太陽光発電施設が現在建設中である。規模や認可の状況は。

A 面積は0.94ha。計画電力7000kw。面積が1ha未満のため、村で対応し、許可した。

Q 今後、山林や農地等を活用した売電型太陽光発電の建設が見込まれる。

今後、山林や農地等を活用した売電型太陽光発電の建設が見込まれる。

A 1ha未満の民有林については、村の裁量で判断できる。農地については、農業振

地目により、規制対象となる場合もあるのか。また、このような新規事業による自然や景観への影響を考え、早急に対応を検討する必要があるのではないか。



太陽光発電施設（川向地区）



大桑小学校の発電用パネル

Q 新庁舎建設計画が進行中である。新

庁舎や大桑中学校等既存の公共施設へのソーラー発電設置をどのようにとらえているか。

A 新庁舎については、環境への配慮や災害時の備えとして、積極的に検討したい。既存の公共施設で避難所指定の建物については、非常用電源施設の一つとして考えている。

興地域に指定されているため、原則的には許可が困難であるが、併農も想定し、県と連携を密にして対応したい。村有地に関しては、検討のうえ、対応を考えたい。私有地に関しては、早く情報を入手する手立てを検討したい。また、建設予定地の住民との合意形成の指導や景観を大事にすることも踏まえ、指針をつくり対応したい。



Q&A 村政を問う

般

水野 進 議員

情勢・状況の変化を
踏まえた諸課題や懸案事項

積極的な対応に期待

- Q** 南海トラフ巨大地震「防災対策推進地域」指定への対応は。
- A** 計画に問題や不備がないかを見直し、村長が重視する地域の自主防災組織づくりを進める。
- Q** 震度6弱の被害や対策を前提とした計画の見直し・修正は。
- A** 各種事業を把握し、補修・修正を進めたい。

意見

- 「村の対策本部⇓地区本部⇓住民」という組織的な仕組みを村主導で確実に推進することが重要だと思う。
- Q** 一人世帯増加、過疎地域拡大、行政サービス維持困難市町村出現等への対応は。
- A** 4月現在、65歳以上の一人暮らし世帯は181世帯で、全世帯の1割強。福祉では、災害時の住民支え



沓垣外の宅地分譲予定地

- 合いや、災害時要援護者台帳の整備を進めている。一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる対策として、配食サービス、安否確認サービス、緊急通報装置設置を進めており、社協も関連諸活動を実施している。
- Q** 人口問題に「定住対策」は重要であり、その第一歩となる村営住宅に、空き家問題がある。居住性向上



あてら荘売店

- や家賃引き下げなどの対策を含め、村内居住者、村内勤務者の村内定住化確保・促進、更には、村外者の村内移住促進施策が重要かと思うが。
- A** 村営住宅整備に続いて、村有地の宅地分譲を進めたい。
- Q** 「あてら荘」運営の評価と今後の対応は。
- A** 利用・管理両面に改善がみられる。就業規則見直しや接遇教育を実施し、良い評価を得ているが、料金の工夫や差別化はさらに必要。
- Q** 平成27年度末、現契約期間が満了となる。運営継続とすれば、現行か、新方式か。新方式の場合、実績のある公共施設運営会社への委託も手段の一つと考えるがどうか。
- A** 現代のニーズに合わない施設で、営業ベースに乗せることは難しい面がある。27年度末を見据え検討したい。

質 問

この問答は、質問議員が要約したものです。



岩佐 孝和 議員

自治組織は行政主導で

視点を変えて
熟慮・検討している

Q コミュニティへの加入率の低下、意識の希薄化が言われている。村の現状は。

A 高齢化、若者の思い等もあり、区等への加入推計は平均93%、低いところで63%と考える。

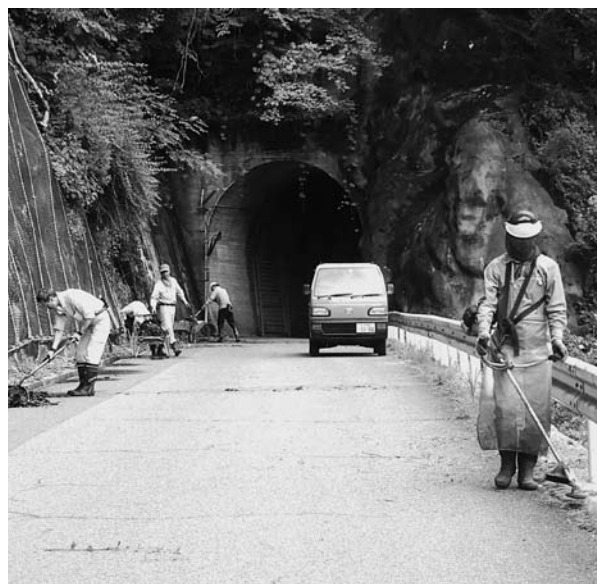
Q 里山整備、水舟、ホタル等環境保全の活動には、どう対応しているのか。

A 元気の会50名位、ホタルの会等は30名位が活動しており、県の元気づくり支援金を活用している。

Q 村の支援はどうか。

A このような活動を支えて、意識の低下を招かないようにと思うが。

A 村独自には景観整備事業をあて、県の支援金共々当初予算に盛っている。組織内でも後継者づくりを願っている。



伊奈川地区環境整備

Q コミュニティと福祉は適合性が高い。地域と協働、連携はできているか。

A 住民支え合いマップは8地域で作成している。有事に備え行政、社協、地域が一体となって対策を立て、平時にも支え合いを大切にしたい。

Q 災害時要援護者台帳は、有事の際どのように活用して行くのか。

A 防災計画に基づいて支援計画を作成し、現在、台帳の公表への同意者が300人弱となった。関係者とともに話を詰めていきたい。

Q 総合計画に「自治組織の見直し」とあるが、どう考えているか。

A 連携と協働で自立の村づくりとしている。コミュニティの崩壊、弱体化が懸念され、活性化が求められる。



新田のホタル

A 今後の高齢化等を考え、全村に網羅されている防火防犯組合を核にして発展させたいと考えている。今までと少し変わった視点から検討を重ねていく。

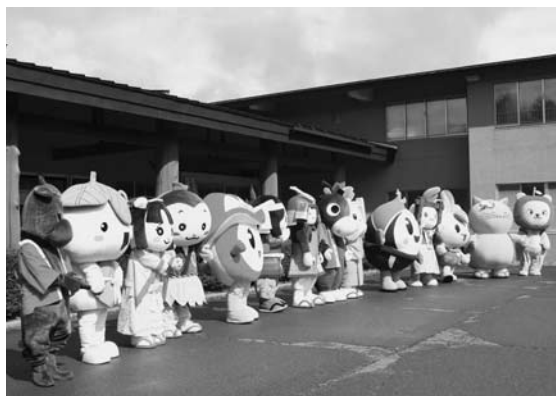
Q このことは今までどのように待ちの姿勢ではなく、行政が主導すべき事柄かと思うが。



Q&A 村政を問う

木戸 勘一 議員

般



郡内町村のゆるキャラ

郷土愛を育む
ゆるキャラ構想は
作成する団体があれば
支援したい

Q 町村のPR活動として、他の自治体では個性ある取り組みが行われている。大桑村の取り組みは。

A 村の面積の96%が森林であり、自然に親しみ、心をいやす

れる場所である。国、県では山の日の制定が決まり、山岳観光について検討することも村のイメージアップにつながるのではないかと考えている。

Q ハナモモ発祥の地としてのPRは。

A 四季折々の観光写真から観光スポットの紹介を進める。

Q 子ども達の村への愛着心は、どのように育まれてゆくのうか。

A 村への愛着心は自然環境、人間関係の良さで育まれ、コカリナ演奏、植樹体験を通じて地域への愛着心は養われていくと理解している。

Q 郡内、近隣町村で活躍するゆるキャラが郷土愛に貢献しているが、大桑村では計画や構想はなのいか。

A これまでに村への要望はない。商工会や観光協会等で制作するなら支援するが、行政主導で作る思いは持っていない。

Q リニア中央新幹線は、多くの問題がある。木曾広域、大桑村での取り組みは。

Q 南木曾町のトンネル工事から発生する残土処理に対する村の対応は。

A 木曾では、木曾地域交通網対策協議会、中津川市を含めた県際交流会議において対策を検討している。村としては、中央西線の輸送力強化等について要望している。



J R 中央西線

Q 13年後、リニア中央新幹線開通後の対策は。また、人口減少のストロー効果は。

A ローカル線の輸送力を強化し、誘客効果を上げていきたい。

A 村は、右岸道路の残土を処理しなければならなかったため、リニアの残土を処理する予定はない。

質 問

この問答は、質問議員が要約したものです。



沼 友行 議員

和牛を観光の柱に
すべきではないか
木曽全体でブランド化
に取り組んでいる

Q 村の観光は、三色桃の植栽や阿寺溪谷の整備などにより、点から線へとつながりつつある。見学場所を整備して点を増やすことが面へつながっていくことだと思うが、それと同時に「北海道へカニを食べに行く」ようにおいしいものがある。どこへでも出かける。このように、観光の柱となるものがなければ誘客は難しい。木曽まで2時間の距離に中京圏という一大消費地が控えている。木曽へ足を運びたくなるような食べ物がないと出かけてきてはくれない。



村内で飼育している仔牛

い。今、農家の皆さんが一生懸命に和牛の生産に取り組んでいる。和牛の生産に村でも力を入れ、和牛を村の観光の柱となるようにすべきではないか。

A 平成24年度に木曽優良子牛生産パワーアップ協議会を立ち上げ、和牛の生産に力を入れている。高齢化と飼料の高騰により生産力の維持が問題になっている。木曽牛の生産力維持とブランド化を目指して先進的な技術で繁殖対策を行っている。木曽牛を使った料理の販売をいなほ、米っ子、道の駅で行っている。

Q 村の観光の柱は何か。

A 大桑村は自然豊かなところであり、来た人が心をいやせる自然を柱としたい。

Q あてら荘の風呂を広くすべきではないか。

A 敷地も狭く、構造的にも広くできない。できる範囲で修繕して営業を続けていきたい。

Q 宿泊者に対する「おもてなし」は。

A お風呂の泉質も向上している。ウォーターサーバーを設置したり、お風呂内に中央アルプスや阿寺溪谷のフィルムを張って紹介している。施設ではなく気持ちの面でおもてなしの心を伝えたい。



あてら荘のお風呂



Q&A 村政を問う

般

瓜尾 美佐子 議員

Q 子育て世代の経済的負担の軽減で、これ以上の人口減少に歯止めをかけるために思い切った少子化対策が求められる。学校給食は教育の一環であり、義務教育は無償であるという観点から学校給食費の無償化を目指す取り組みについて質問したい。現在、保護者が負担している給食費はどれくらいか。

教育の一環である
給食費の減免を

将来的には検討が必要

A 小学校低学年が年徴収額5万3300円、高学年が5万3500円、中学校が6万2060円。5月から2月まで10回に分けて徴収している。

Q 義務教育費は無償といっても実際には、給食費のほか、学校教育活動の費用など保護者が負担する学校徴収金がある。その中でも大きなウエートを占める給食費を無償化



学校給食

したり、半額助成、もしくは第2子、第3子から無料など条件付きで助成する自治体の取り組みが各地に広がっている。村としても取り組みを求める。

A 当面は無理だが、将来的には検討したい。

Q 来年の3月でアナログ放送が終了する。高齢者にもわかりやすい周知が求められる。相談窓口の設置や

低所得者への支援の検討を求める。

A 広報のほか、集会等の機会に説明したり、低所得者対策も検討したい。

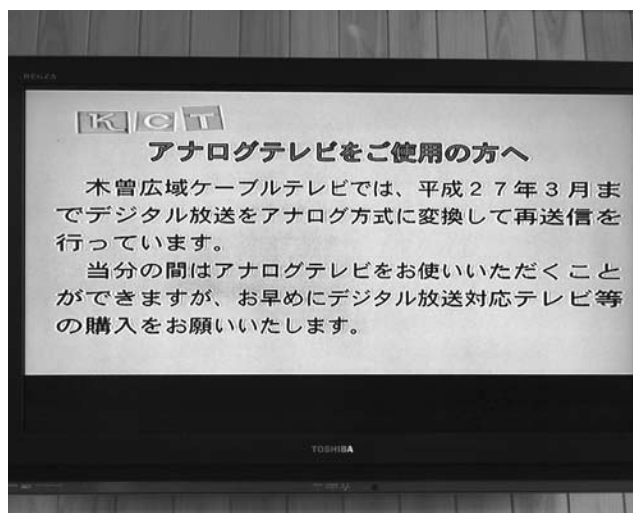
Q 車などの移動手段を持たず、身体的にも経済的にも日常の買い物が困難な買い物弱者の実態と、行政としてできる支援を求める。

A 要援護者台帳をもとに調査、103

世帯、130人。高齢化の進行と野尻地区で商店がなくなったことも影響し、急激に増加している。村としては、これまで通院に利用されていたタクシー券の助成を買い物にも利用してもらうように周知していきたい。

実態をよく調べ、きめ細かな対応を求めたい。

意見



デジタル化を周知する文字放送

一般質問

古畑 昌夫 議員



再生可能な地域資源の活用を 木材の地産地消に向け 検討したい

Q 再生可能な地域振興に関連して、リニア新幹線の影響、自然エネルギーの推進、木材の有効活用について質問したい。

A リニア計画に、木曽は広域的にどのような対応しているか。

Q 木曽の町村など、近隣の地域と連携して対応している。

A 南木曽町では、観光や住民生活への影響が心配されている。

Q 県が地元の問題に配慮するようJR東海に要望している。

A この計画は、安全面や財政、電磁波の影響、原発頼みなど大きな問題がある。



リニア関係会議

Q 県を窓口にしてJRや環境省と折衝している。木祖村が3万mの残土受け入れを表明しており、国道への影響も注視したい。

A それらを踏まえ、村としての「指針」を検討したい。

Q 電気の買取り制度ができてから815万kwが稼働し、認可されたものは4千万kwを超えている。

A 一方、環境や地域への影響を検討する必要がある。



官行造林（浦川）

Q 「官行造林」は4団地で119haあり、森林管理署との調整をはかり、議会にも相談したい。

A 「里山資本主義」という本に紹介された木材の新しい建築材の加工や燃料としての活用が注目されている。大桑村でも検討したらどうか。

Q 木材の有効活用が大きな問題になっている。塩尻市や南木

A 曾町でバイオマス発電が計画されており、大桑村としても建築材や燃料としての活用、広葉樹林の育成も検討したい。

Q 総合計画で示している木材や燃料の多面的な活用の指針が必要ではないか。

A 木材資源の地産地消に向けて、推進母体（核）の育成など研究する必要がある。

こんなことが決まりました

固定資産評価委員、人権擁護委員、農業委員の再任

条例改正

●大桑村税条例の一部改正

●大桑村国民健康保険税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律及び関係政令等が3月31日に公布されたことに伴い関係条項の改正を専決処分したもの

●過疎地域に係る税の特例に関する条例の一部改正

国の法律等の一部改正に伴う関係条文の改正

請願

●義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

●国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書

請願団体

長野県教職員組合木曾支部大桑単組

代表者 北原 健吉

紹介議員

横平 幸男

結果

全会一致 採択

陳情

●労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択に関する陳情書

陳情団体

日本労働組合総連合会
長野県連合会木曾地域協議会

議長 小栗 浩彰

結果

全会一致 採択

●集团的自衛権の行使は憲法上許されないとする政府見解の堅持を求める陳情

陳情団体

木曾地区労働組合会議
議長 森山 直保

結果

賛成多数 採択

人事

●固定資産評価審査委員会委員の任命

大桑村須原

細田 正男 氏
同氏の再任に全会一致で同意。



●人権擁護委員

大桑村須原

白木 正 氏
同氏の推薦に全会一致で同意（再任）



農業委員

大桑村殿

古根 妙子 氏

同氏を議会推薦の委員として全会一致で選任（再任）。



農業委員会選挙

任期満了に伴う農業委員会的一般選挙が7月1日に告示され、無投票で当選が決まった。当選者は次の皆さん。

木戸口 茂（野尻）
中川 進（長野）
羽根田 博（長野）
西尾 太（野尻）
古瀬 吉一（殿）
新田 孝男（殿）
古根 和俊（野尻）
井出美代子（長野）



農業委員当選証書授与式

委員会報告

総務社会 常任委員会

◎5月8日開催

委員外議員の出席を求め、全議員参加し、村担当者から説明、案内を受けた。

▼ 新型インフルエンザ等対策行動計画(案)

これは、政府行動計画及び長野県行動計画に基づき、村における新型インフルエンザ等対策に関する基本的な方針および実施する措置等を示し、全国的かつ急速にまん延のおそれのある新感染症に対する対策強化を図るためのもの。

▼ 村有林視察

増ヶ沢外下洞村有林・太田代小田代村有



村有林視察

林を歩いて視察。他6か所の村有林は車中から確認。

間伐等手入れしてある場所もあるが、広大な村有林の維持管理の課題として、関係機関と連携強化や外部委託等を検討する時期に来

ている。また、専門知識を有する職員の育成も急務。庁舎建設に村有林を活用するのであれば、伐採する場所等の視察調査を実施したい。

(報告者 鈴木 武)

木曽広域連合議会報告

◎開催日 6月2日
◎場所 木曽文化公園

件費と木曽音楽祭が主たる補正趣旨である。

第2回定例議会に上程された議案は、一般会計・介護保険特別会計の補正予算である。審議の結果すべて原案通り可決、承認された。

▼ 平成26年度一般会計補正予算

672万7千円増額し、8億8338万2千円とするもので、人

▼ 平成26年度介護保険特別会計補正予算

198万1千円を減額し、40億3858万3千円とするもの。職員異動による人件費減に伴い、町村負担金を減額する補正。(報告者 鈴木 武)



木曽郡議員総会で
提案説明する岩佐副議長

議会を傍聴してみませんか!!

手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴者名簿に氏名を記入していただくだけです。

定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)行われます。村政を知る良い機会です。

どうぞお気軽にお越しください。

行政報告

○25年度決算状況・速報

25年度各会計の決算の状況は別表のとおりです。

一般会計の実質収支は1億2000万円を超えましたが、特別交付税が予算に対して3900万円の増収となっています。

○全国各種団体の総会等について

5月27日、全国森林環境税創設促進連盟総会が全国町村会館で開催され、連盟に加入する全国の町村長が一堂に会し、森林の整備・保全を担う市町村の財源として森林環境税の実現を目指す決議をするとともに自民党税制調査会及び関係部会、関係省庁、地元選出国會議員等へ要請行動を行いました。なおこの

総会で北信地区選出の副会長に就任しました。また、前後して各団体の大会が開催されています。

○農林関係各種団体役員就任について

昨年11月に郡町村会の担当が変わり農政林務部長を務めています。それに伴いこの春の総会等でそれぞれの団体の役員に就任しました。

・木曽山林協会

会長

・長野県林業公社

理事

・長野県林業コンサルタント協会

理事

・長野県土地改良連合会

理事

・中信農業共済組合

理事

・長野県国土調査推進協議会

会長

○森林の里親促進事業について

3月10日、木曽地方事務所長を仲介に株式会社IHIターボと「森林の里親契約」を締結しました。この事業は、環境問題に熱心な企業の支援を受け、企業と地域の交流を深めるなど新しい形の森林づくりを目指すものです。今回、のぞきど森林公園周辺の村有林で、株式会社IHIターボが森林整備や資金を援助するものです。6月7日、育樹祭に参加したIHIターボ米谷社長、吉江木曽地方事務所長とのぞきど森林公園入口に立てられた看板を視察し、周辺にハナモモの植樹を行いました。

○木曽産木材活用に関する要望活動

4月7日、木曽広域連合として宮川南木曽



森林の里親促進事業

○直轄砂防事業

町長と共に河村名古屋市長に名古屋市の公共施設の整備の木造化、木質化を推進し、木曽産材の活用と名古屋市の公共施設の備品整備に木曽産材仕様の製品の積極的な購入などの要望活動を行いました。当日は、実際に大桑小学校で使用されている木造の机といすを持ち込んでPRしました。

・越百第3砂防堰堤事業

業6億2700万円

・下在砂防堰堤工群事業

業8000万円

・細久保砂防事業

業800万円

なお、猿沢砂防事業、下洞沢砂防事業は引き続き調査が予定されています。

〔別表〕平成25年度 各会計別年度末調書

平成26年5月31日現在（単位：万円）

会計別	歳入総額	歳出総額	差引残高	繰越明許費等	再差引残高	基金積立金	翌年度繰越金
一般会計	357,791	345,058	12,733	29	12,074	6,353	6,351
村営水道事業特別会計	25,609	25,456	153		153	77	76
国民健康保険事業特別会計	43,878	41,550	2,328		2,328	1,164	1,164
農業集落排水事業特別会計	12,130	12,036	94		94	47	47
公共下水道事業特別会計	10,872	10,770	102		102	51	51
後期高齢者医療事業特別会計	6,024	6,019	5		5		6
計	456,304	440,889	15,415	29	15,386	7,692	7,695

サークル紹介 第2回



子ども和太鼓クラブ 馬頭子ども太鼓 ～子ども達の思い出作り～

平成6年に大人と子どもの混成で始めたのが最初。次第に大人が減少していく中、平成10年から子どもたちの思い出作りを目的に、木曾に多くある「馬頭観音」から名前を取り「馬頭子ども太鼓」として新たなスタートを切りました。

始めてから16年目になりますが、毎年春に

新しい仲間が入り、5月頃から始まるイベントに向けて毎週1回の練習を小学生、中学生みんなで行って仲良く行っています。今年は4月から高校生になった3名の女子が来てくれているので、子どもたちを一生懸命教えてくれています。

毎年恒例の地元のイベント・お祭りに出演することを楽しみにして、たくさんの方との出会いを、そして何よりも「思い出づくり」を大事にしながら、新規会員を入れて充実した人数で活動していければと思っています。私たちの演奏を楽しむにしてくれている人たちのためにも、子どもたちの元気太鼓応援よろしく願います。

毎週金曜日に村民体育館で練習しています。是非、見学に来てください。思い出作りに参加しませんか。

(指導者 宮戸昌弘)

作品紹介④



大桑句会

生活の中に五七五、メンバー10名余、月一度の句会を楽しんでいます。

編集後記

おかげさまで本年度より待望のカラー表紙による本紙発行となりました。議会の役割である「本物の議事公開」の四本柱に、一般質問、議案と審議、議会活動報告、住民登場があげられています。

住民登場に関して、表紙写真、議員と語る会や傍聴記、「作

品紹介」および「サークル紹介」があります。表裏がカラー印刷となることで写真に存在感が充実し、親しみやすい「議会だより」となりました。ご協力していただいた住民のみなさんに心より感謝申し上げます。

委員長 横平 幸男
副委員長 木戸 勘一
委員 沼 友行

大前今朝雄
岩佐 孝和